

ふれあい9号

平成25年3月31日



シニアユニバーシティ北浦和校

8期校友会

巻 頭 言

会長 藏重 修二

早いもので今年度ももう終わりになってしまいます。今年度は、北浦和協議会の会長になったことや連合会の広報部での業務と相まって多忙な一年でした。堀田副会長や江本副会長の手助け、役員さん・会員の皆様のご協力・ご支援で何とか無事(?)に終わりそうです。ありがとうございました。

しかし、多々ご迷惑をおかけした点多かったのではないかと反省しています。

来年度の体制は、1月に承認いただいた新規則のもと、堀田副会長(総務部長)、安澤副会長(企画部長)、藤枝副会長(広報部長)の3副会長及び会計は岡本さんで、私が会長で行うこととなります。よろしくお願い申し上げます。しかしながら、来年度は、北浦和校協議会に連合会の会長職が回ってきて北浦和校協議会の9期校友会会長が連合会の会長になる予定です。それに伴って会長を支えるべく私も連合会の裏方として総務部長を引き受けることになる予定です。そのため、8期校友会の業務は今年以上に出来なくなると思いますので、会の運営は3副会長を中心に行って戴きたいと思っています。各理事並びに会員の皆様には、今年以上に3副会長にご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。現在、企画部を中心に来年度の計画を立案中ですが、各行事に多くの会員の皆さまが参加していただけることが、運営する立場として大きな励みにもなります。

そもそも校友会活動は、家に閉じこもらずに外に出て一人一人が校友会活動することによってお互いに刺激しあうことが立派なボランティア活動になっていると思っています。

今後とも、理事の班長さんを通じ又は直接役員に率直なご意見を戴ければ、校友会活動に生かしていきたいと思っています。

最後になってしまいましたが、3年間副会長をして戴いた江本さん、広報部長をして戴いた小林さんが退任されます。江本さんはきめ細かい活動で校友会運営にご協力戴き大変助かりました。また、小林さんはふれあい発行に当たり、費用不足分をまかなうため広告を取って戴いたり、ふれあい発行に尽力されました。ありがとうございました。感謝申し上げます。

7 月講演会 吉田榮夫氏 : 「南極観測 50 年と私」



吉田 榮夫先生

平成 24 年 7 月 3 日、日本極地研究振興会理事長吉田榮夫氏による「南極観測 50 年と私」と題する講演会が、80 名近くの参会のもと、市民会館うらわ 7 階の 705・706 集会室で開催された。

南極大陸は今なお、深海底とともに地球上で最も広大な未知なる領域の一つである。日本はそのベールに迫るべく、1956 (昭和 31) 年以来今日まで半世紀以上にわたって、昭和基地を中心とする観測基地においてさまざまな分野の観測を継続してきた。その間、世界初のオゾンホールを発見を初め、数多くの科学的成果があげられた。

講演者の吉田氏は、昭和 32 (1957) 年の第 2 次を手初めに、4 次、8 次、16 次、20 次、22 次、27 次とじつに 6 次にも及ぶ南極観測に従事され、その間 3 次にわたって越冬を経験された。また 16 次以降は観測隊長も務められた。今でこそ昭和基地の研究・居住環境や食生活は国内と大差がないほどに整備・改善されているが、氏が行かれた頃はそのいずれもが厳しい状況であったという。

南極の気候環境、とりわけ冬季のそれは我々の想像を絶するほど苛酷なもので、最低気温の極値はマイナス 45.3℃を記録している。吉田氏が第 4 次隊員として越冬した昭和 35(1960)年 10 月 10 日、氏は他の 1 人の隊員とともに海氷上におかれた橇の点検のために基地外に出た際、最大瞬間風速 54 メートルという記録的なブリザードに見舞われ、視界ゼロのなか氏はかろうじて基地に帰還しえたものの、同行した隊員はついに帰らぬ人となった。

このような苛酷な南極の自然の中で観測を続ける昭和基地の、施設・設備、隊員たちの日常の観測活動や生活の様子、犬橇や雪上車による長距離調査旅行、その他さまざまなご自身の現地体験などに関する、パワーポイント画像を使つての講演は、参会者に多大な感銘を与えるものであった。

(澤田裕之記)



講演会のスライドより



文化祭作品展示会・芸能発表会（SSU連合会事業）参加

作品展 日取り：平成25年2月25日～28日
 場所：埼玉会館第1及び第2展示場
芸能発表会 日取り：平成25年2月23日
 場所：埼玉会館小ホール

作品展について

第21回のさいたま市シニアユニバーシティ（SSU）校友会連合会主催の文化祭作品展示会が埼玉会館第一展示場及び第2展示場で2月25日～28日に行われ208の作品が展示されました。今年は第8期校友会から3人、作品数3点の作品を出品して頂きました。出品された方には、準備・搬入・搬出と大変ご苦勞をおかけしました。大変感謝申し上げます。今年の作品展示は、述べて551人が作品展を鑑賞して下さいました。開催日が芸能発表会とは別の日になったためか昨年より少なくなったのは、残念でした。

また、今年は北浦和校協議会が、展示の幹事校だったため、展示や片づけに際し多くの方に支援戴きありがとうございました。小さなトラブルが有りましたがおかげ様で無事終了することが出来ました

以下に8期校友会の皆さんの作品一覧と展示品の写真を掲載します。

名前	作品種目	作品区分	数	作品名	大きさ(cm)	展示方法
藏重 美佐子	手工芸	組紐	2	雅流組紐	横 32×縦 42	台上
大塚 隆一	書	額装	1	日々是好日	横 47×縦 78	壁面
絵手紙	手工芸	絵手紙	1	絵手紙クラブ	横 71×縦 91	壁面

以下に8期校友会から出された作品を掲載します



組紐：藏重(美)さん



日々是好日：大塚さん



絵手紙クラブ作品：クラブ員10人

第20回校友会連合会芸能発表会について

藏重 修二

第20回連合会校友会主催の芸能発表会に昨年同様、北浦和校8期として参加しました。昨年は、東北地方の復興、復旧を祈願して東北地方の民謡とその踊りに挑戦しました。今年は、企画部の安澤さんを中心に企画を考え、今年はまだ東日本大震災や原発事故で故郷に戻れない人が多く埼玉県にもおられるので、さいたまの良いところ紹介しようと考え、彩の国小唄を題材に行うことにした。眞田さんの発想で唄だけでは他の参加校と差別化できないのと、出来るだけ多くの会員が参加できるようにと考え、この唄を中心に踊りの振り付け更には唄の歌詞の内容をスライド画像で紹介しようと言うことになった。

各班から参加者を募ったところ、30数人の方に集まって戴いた。全体の演出・コーディネーターは2班の眞田さん・8班の安澤さんに、残りの参加者を6班の田中さん・12班の榎本さんを中心に13人の踊る人、4班の三輪さんを中心に18人の唄う人、映像・ナレーション担当は2班の古海さん・副会長の江本さん・3班の沢田さん・藏重の4人、写真担当は12班の平岩さんの4つのグループに分け練習することになった。

踊りの振りは、元々彩の国小唄には決まった踊りの振りはなかったもので、昨年も踊りのご指導を戴いた6期校友会の中澤副会長に振付をお願いしたところ快くお引き受け戴いた。実際の振り付けは、我々素人集団でも出来るように考えて戴き、埼玉の秩父音頭をもとにアレンジして戴き中澤先生の直接2回の指導で何とか踊れるようになりました。

唄は、三輪さんに歌詞カードやテープを用意して戴いて、唄の指導もお願いしてカラオケで唄えるようになりました。

映像の方は、初めてのことで実際の埼玉会館の小ホールでどのように映るのかわからず、会館まで出向き舞台担当者や打ち合わせをしたり、連合会の企画担当者に交渉して映像を大きく写せるように舞台のスクリーンを用意してもらったり、実際に流す映像を手持ちの写真やネットで探し何とか組み立ててナレーションと合わせて映像の時間を工夫したりバック音楽を入れたりちょっと苦労しましたが何とか完成させました。

全員揃っての練習は皆様の都合もあって出来ませんでした。本番までに計7回練習を重ね何とか10分以内で終了するよう形が整いました。

参加者全員のご努力により、他の出演演技にない新しい試みもでき、2月23日の発表会は素晴らしい発表が出来、何とか無事終了する事ができ大成功だったと感激しました。

最後になりましたがこの発表会のために練習会場の確保、踊り用品の準備等々に携わって戴いていただいた方々にも感謝しております。皆様、本当にお疲れ様でした。

また来年参加することがありましたら是非会員の皆様奮って参加しましょう。

芸能発表会写真（平岩さん提供）

踊りと唄に参加した会員(演技を終えて挨拶)



総合司会中澤さん（左）と演目挨拶沢田さん



映像ナレーションの江本さん



真剣に演技中



練習風景

24年度ペットボトルキャップ回収報告

2013.03.31.

シニア大学北浦和校 8期校友会
ペットボトルキャップ回収担当 藏重

この1年ペットボトルキャップ回収にご協力いただきありがとうございました。

平成24年1月から平成25年2月までの13カ月の回収結果をご報告いたします。

今年度は平成25年2月までに154.8kg、約61920個回収することができました。

昨年の実績185kgと比べると少ないように見えますが、昨年まで回収依頼されていた日本キリスト教団埼大通り支部が独自に回収することになりその分約45kgが減少したため、昨年の8期校友会とふれあい館の合計140kgに比べると15.4kg多く回収することが出来ました。なお、今年度は8期校友会とふれあい館を分けずに回収集計しています。ご了承ください。

今回の量154.8kgは「ポリオワクチン77.4人分になります。また、この量のキャップを燃焼させると約488kgの炭酸ガス(CO2)が発生します

なお、今までの回収実績は、以下の表の通りです。

平成21年4月から平成25年2月までに回収された総キャップ数は、約18.4万個でポリオワクチンとして229.8人分に、また燃焼した場合、炭酸ガスとして約1448kg発生量を減らすことができました。

来年度もこの事業は、継続する予定です。よろしく申し上げます。

8期校友会・ふれあい館ペットボトルキャップ回収集計

	kg	個数*1	ポリオワクチン (人)*2	炭酸ガス発生量 (kg)*3
平成24年度	154.8	61920	77.4	487.6
平成23年度	140.0	56000	70.0	441.0
平成22年度	110.0	44000	55.0	346.5
平成21年度	54.8	21920	27.4	172.6
計	459.6	183840	229.8	1447.7

*1)1kgを400個として計算 *2)2kgでポリオワクチン1人分 *3)1kgで15kgのCO2発生

3班

2012年度

3班の回想

シニアにとって、時間の経つのは早いもの、なぜ早いのかを解説した本が書店に並んでいました。興味ある方は探してみてください。同じことをするのに若い頃は一日で処理出来たことが、高齢になると2日も3日もかかり、先週のことを遠い過去のよう、何年も前のことが昨日のように思われることが間々あり、脳神経の伝達があちこちと迂回しているからという人も居りますが、まあどうでも良いことです。今年も、はや1年の回想を認める頃かと……。

3班の皆さん、新年度を全員揃って継続、喜ばしい限りです。食事会、暑気払い、忘・新年会と他班に習って行ったような気がします。3班の皆さんは、某クラブの参加活動以外、校友会の行事には熱心ではないようです。しかし、班の行動は、纏まって行くのがお好きなようで、春の連休は神宮外苑になんじゃもんじゃの花木を見に行こうと云うことで一致、先ず、つつじを見に行こうと云うことにして西日暮里で下車、サブウェイで根津神社へ。

鮮やかなつつじの競演足はずむ

満開のつつじは、満員の人並みで埋まり、這々の体で神宮外苑へ、お目当ての絵画館前のなんじゃもんじゃ今年も剪定が入り花は疎ら、がっかりして周囲を徘徊、ありましたね3本の木立を見つけました。小ぶりながら真っ白な綿雪のような花群を見せてくれました。な



んじゃもんじゃと云う木はご存じの方も居られることと思いますが、正式名称は「ヒトツバタコ」と称し金木犀、銀木犀の仲間で5月の連休の頃、真綿を被せたような花を見せてくれます。

東京では外苑絵画館前の明治からの巨木が有名です。銀杏並木の某所で昼食、

食事後渋谷に出るか、信濃町に出るか迷い結局またなんじゃもんじゃを見て帰路に就くことにしました。駅までの途中、喉が渴いたのでお茶にしようとして一致、では、そこの明治記念館にでも行くかと決めましたが、庭園のきれいな結婚式場なのでラフな格好の爺さん婆さん、入れてくれるかなと危惧しましたが、すんなりOKでした。だがお替わり無しのコーヒー一杯900円とのこと、ビックリ。芝生の上では、二組のカップルと親族が幸せそうに集うシーンを3班の女性達はどんな気持ちで見ているのかなと観察すると、あにはからんや、我関せず、どこ吹く風と皆さんおしゃべりに夢中でした。我々もカップルのいた場所で記念にパチリ。

2012.5.1 根津神社



時空超えなんじゃもんじゃが威を正す

東京では外苑絵画館前の明治からの巨木が有名です。

銀杏並木の某所で昼食、



2012.5.1 明治記念館

例年になく猛暑から季節が変わり、9月末に史跡クラブの事前調査を行うに当たり、改装終了間近の東京駅を見学したいということから寄り道、内部は概ね完了しているようだが、外部はまだ工事用車両、安全資機材等が散乱しており、これで10月1日オープン出来るかなと懸念しましたが、北側ウイングのドームと周辺は綺麗になっており、そこで記念写真をパチリ。この後、運動不足と思われる皆さんを水天宮、人形町経由で秋葉原まで5Km余りのウォーキング、一汗掻いたらさぞ夕飯が美味しかったことでしょう。

中秋になるというのに、まだ猛暑のなごりが色濃く残る10月のはじめ、装飾のすばらしい竜宮城を見学に行きますかということで坂戸市双葉に在る聖天宮を見学。

聖天宮は中国の伝統宗教「道教」のお宮で、日本のこの地をお告げによって選定、台湾から建設資機材、作業員を投入約15年の歳月を費やして平成7年に完成、絢爛豪華な装飾に一見の価値があります。双葉駅からバスでものの5分、バスを降りて歩くこと5分、家並みが切れたら、別世界に来たような光景、一瞬なんだこれはという感覚になり、皆さんあつけにとられていました。



異国めく黄金の宮や秋日濃し

実は以前校友会の史跡クラブで東松山の吉見百穴の帰りに途中下車、聖天宮前のポピー祭りと一緒に散策したのですが、その折某班長以外は全員不参加、多分今回初めて見る光景だったのでしょ。内部の装飾と施設の云われを係員の説明で、皆さん満足した様子でした。

秋暑し気炎上げる鷗尾の龍



昼も回ったし、駅近くには4年制の大学では本邦唯一の日本女子栄養大学があり、ここの学食（学生食堂）では塩分等を考慮したシニア用の定食を提供してくれるので、この学食で昼食ということでバスを途中下車、歩くこと5分、構内に入り尋ねて行くと、不況のせいかな近頃の女子大生は弁当持参が多く、そのため学食は採算が取れずこの春に廃止したとのこと、残念。仕方なく空きっ腹を抱えて駅前のラーメンやでチョン。昨年の玉川上水に続き、今年も予定していた昼食に見放され、ぼやくことしきり。

年も押し迫った暮れ、忘年会をとということで反省会を兼ねて全体集会後、武蔵浦和の「木曾路」ということで決定。木曾路までは車、電車、バス等の利用禁止令をだし、集会終了後、浦和駅前のパルコのエントランスに集合。木曾路まで近道で約2.5Km、歩行時間40分、食事が美味しくなる距離ですよ、とスタート。いつもは500mでもタクシーを拾う某彼女もおしゃべりしながら楽しそうに歩いていました。

♥折り込み句は当班女性達の投稿です

文責 3班 某班長

ごはん食べ歩る記

パートⅢ



ごはん 岡本 功

平成24年度最初の食事は4月3日(火)、武蔵浦和マール館の中にある魚料理店『魚鉤』に行ってきた。マール館内の数ある料理店の中で食通の相崎さんに予約をお願いした店でしたが、流石にお目が高く、鹿児島直送鮮魚の刺身と煮魚に皆さん大変満足された様子でした。当初の予定では、線路沿いの桜を見物してからの食事会スケジュールでしたが、当日の天気予報は「急速に発達した低気圧の影響で午後からは台風並みの暴風雨」との為、桜見物もソコソコに切り上げ早めの食事となりました。もっとも桜もやっと蕾が膨らんだ程度で桜見物は雰囲気はチョッピリ味わっただけでした。只その代わりたっぷり食事の時間が取れて、楽しい話らいと美味しい魚料理を満喫する事が出来ました。食後は幸いにまだ風雨もそれ程強くありませんでしたが、安全を期して次回の食事会の日程だけを決めていつものコーヒータイトムはパスをして、皆さん早めに帰路に着き散会しました。

梅雨の時期に入った6月12日(火)、雨模様の中13回目の食事は大宮駅に集合し平成21年12月に市民会館大宮での会合(落語)の帰りに、五班の納会で一度行った事の有る“徳寿庵”でした。店内は外観のビルのイメージとは違った“庵(いおり)”の雰囲気を感じる、黒光りのする部屋を思い出しました。食事は『手創り料理』と謳っている中からミニ海鮮丼と麵御前の手軽なランチを注文しました。海鮮丼と麵とのバランスが良くお値打ちの内容でした。店内は雨模様の平日と云うこともありそれ程混んで無く周りを気にせず、ゆっくりと大声の会話と美味しい食事を味わった時間でした。今回の参加人員は皆さんそれぞれ所用があり7名でしたが、食後のコーヒータイトムが終わってみると4時間が経過して居ました。次回の予定として真夏の暑い時期を避けて9月の中旬に、北浦和のフランス料理店での再会を約し、降り続く小雨のなか皆さんそれぞれ帰途に着きました。

今年3回目の食事は暑い夏を避けた筈の9月19日でしたが、記録的な残暑が終わること無くいつまでも暑く、真夏同様の時期に成ってしまいました。只当日は雨が降ったり止んだりだった為暑さも幾分和らいだ一日でした。会場は北浦和駅東口から近くのフランス料理店フィデルと云うこじんまりした店舗でした。食事は全員ランチコース注文しましたがオードブルから最後の飲み物まで、会話の丁度良い“おつまみ”と云う感じで、いつもの様に話があちこちに飛び“健康問題・介護・相続お墓・オレオレ詐欺・還付金詐欺”等、みなさん経験に基づいた高

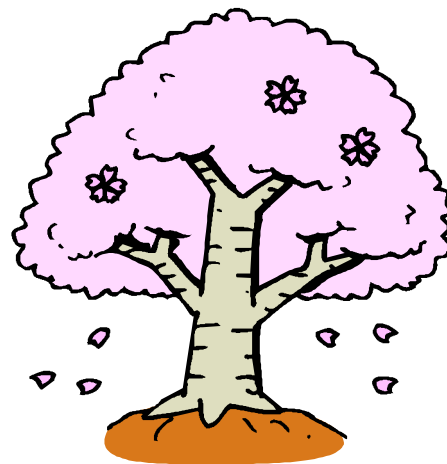
齡者定番の話題で途切れること無くアツという間の3時間でした。帰りの頃には雨もあがり幾分涼しく成った事もあり皆さんの顔付きが清々しく感じられました。次回は11月13日(火)浦和駅に集合し会場は当日に決めることにして散会しました。

11月13日(火)今回は初めての試みで会場を決めず浦和駅に集合し駅近辺での食事会でした。その結果行った食堂は、コムナーレ5階の食堂街の『いろはにほへと』でした。この店舗はコミュニティセンターでの集会后、良く利用する行き慣れた店という感じで気軽に入店した次第です。食事は数多いメニューの中からそれぞれ好みのランチを注文しました。今回は皆さんそれぞれ多忙のようでまた当日欠席者もあり最少の4名の参加者でしたが話題は内容豊富で全員が是まで以上に十分に話し尽したという感じで、終わった時にはいつもの様に3時間が過ぎていました。次回の食事会は年を越した来年2月5日(火)同じ様に取り敢えず浦和駅に集合してから会場を決める事にして帰路に着きました。皆さんの元気な様子が何よりで、立冬を過ぎた日の柔らかい日差しが心地良く感じられた午後でした。

年が開けた平成25年最初の食事会は正月気分も薄らいだ2月5日(火)11:30浦和駅に集合し、参加者6名で会場を話し合った結果行った先は前回と同様の駅前のコムナーレ5階『いろはにほへと』でした。前回に時間やまわりを気にせずゆっくり過ごせたので全員一致で直ぐに直行と云う感じでした。それに今回は食後のドリンクお変わり自由を利用した為、皆さん会話も滑らかで暫く振りでお会いする人の近況等をワイワイ話し合っている内に時が経過して帰りを気にする時間に成って居ました。

そこで次回の食事会は4月17日(水)、会場はコムナーレの5階の他の店にも行って見ようと云う話が出て浦和駅に11:30に集合して、当日皆で探そうと決まりました。

これからも予約なしの食事会と云うパターンを継続して『当日参加出来る人が集まって気楽に楽しみましょう』と再確認し2ヶ月後の再会を約束し散会しました。



ク ラ ブ 報 告



一年を振り返る健康麻将クラブ

松下利夫

麻雀を「楽しむ」を通じて交友を深め合う友愛を基調に協調性を高め推進を図ると共に刺激を与え合い、互いの生活に潤いと活力をもたらすことを目的とし、会員の健全な精神と健康的な身体の維持、増進と共に会員相互の親睦と情報交換を行う、又、会員間の親睦を深める行事として、花見会、ボーリング大会、郊外散策等々を活動の一環として行い、「賭けない」「吸わない」「飲まない」の「3ない」をスローガンの健康麻将を通じて 会員の「健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり」の所謂「3づくり」の合言葉で23年11月4日、浦和コミセン第8会議室からスタートしました。(会員登録数約22名) 麻雀用具の調達、競技会場の確保、会員募集、関連資料の提供等々のクラブを立ち上げスタートさせるまでの期間の部長「堀田氏」の大変なご尽力に感謝し、一年を迎える事が出来ました。勿論、会計・世話役初め会員全員の協力があつてのクラブです。

現在、活動会場は、浦和コミセンと鈴谷公民館の2ヶ所で開催、会員数は、(23名前後) 活動日参加者は3～4卓囲む程度に落ち着いています。技能は、スタート時より数段上達し点数計算は出来ないまでも上がり方(ロン)は、解る様になりましたので、一年を迎えるに当たり11月より点数計算が(各々)徐々に出来るように個人別点数表に記録し、切磋琢磨しながら技能向上を図りながら楽しく、愉快地活動して行きたいと思えます。

麻将クラブの特徴は、クラブ規約第5条(2)(3)に定めてある様に8期卒業生だけでなく幅広く他校卒業生でも本会の目的・趣旨に賛同された者にも100円/回等で参加出来るよう受け入れている所が特徴の一つとも言えましょう。そして又「競技中」となれば、会話と笑いが絶えない賑やかな雰囲気！各卓一定の区切り時点で休憩し連絡事項の確認、健康麻将に相応しいラジオ体操を行い心身共にほぐし再度卓を囲み楽しむ事です。又、競技終了後、反省会として、飲ミニュケーションが会場近くの飲食店で始まります。そんな所も特徴の一つでしょう！親睦行事の一環として10月9日にボーリング大会が浦和スプリングレーンズで開催されました。懐かしい、幾年もやってない、ん十年以来などと言いつつしながら、和気あいあいの雰囲気の中に低得点での順位争いで終了、反省を踏まえ食事会で盛り上がりました。一年を振り返りクラブ活動に参加して他班の方々、他校の方々との交流で「3づくり」の合言葉が出来つつ有ります。2年目を迎えるに当たり益々のクラブの発展と健康第一、技能力は次の次で、楽しく活動参加して行きましょう！

(松下記)



蕎麦道楽倶楽部福島応援ツアー

蕎麦道楽倶楽部 本間 進

蕎麦道楽倶楽部は昨年に引き続き温泉付きのお泊りを計画するにあたり、今もって風評被害が収まらない。福島のを会津地方を幾ばくかでも応援できればと行ってきました。

10月23日(火) くもり

今にも降り出しそうな新都心の空模様定刻に6期より1名参加され、総勢10名で出発。小人数だから話が見え楽しい旅になりそう、高速に乗り北に進むにつれ空が暗くなり那須高原付近を通過した所からポツリ、ポツリと窓ガラスに水滴。今日の観光は傘が離せなくなりそう。でも車内は3人寄れば何とやら、それも4人です賑やか、男だけでは華やかさに欠け暗くなりがちで女性の参加は場を和らげます。おしゃべりしているうちに最初の見学地“栄川酒蔵”に到着です。

驚きです。昔の造り酒屋のイメージで来ましたから、紅葉した山の麓に蔵造りを思はせる白を基調にした広大な建物。杜氏がかき回していた木樽はホウロウ製とか？温度、湿度は機械管理オート化され様変わりです楽しみにしていた試飲処へ。生酒も吟醸酒もおいしかったが、一升一万円也の試飲あまりにも少ないのでお代わり、×でした。担当者が商売気ないのか気が回らないのか。



蕎麦道楽倶楽部こだわりの十割手打ち蕎麦と、会津郷土料理が味わえる昼食処“香寿庵”へ会津地方初めての方もいらっしゃるので典型的な郷土料理こづゆ(干し貝柱だしが決めて、大根、人参、里芋、きくらげ、丸麩、青葉等) 鱧の山椒付、馬刺し、棒鱈の甘露煮、天ぷらも、野菜天のほか鱧の天ぷら、饅頭の天ぷら山深い会津では保存性に優れた乾物の魚介類を使った料理が生まれ受け継がれてきた。(左下がこづゆ)



大内宿は江戸時代関東と会津を結ぶ下野街道交通の要めだった、しかし明治以降には新たな街道が出来価値が薄れ時代に取り残されたことにより大内宿には奇跡的に茅葺の家並みが残り、1981年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され貴重な景観を保っている。今までの観光地では老若男女が定番だが、昨今は老々女のグループが圧倒的に多くみられる。老男は何処。当日は小雨に煙る大内宿だったが掲載の写真は晴れの大内宿です。



自家源泉を持つ東山温泉随一のかけ流し露天風呂と大浴場が待つ東山パークホテルへ。
夕食前に湯つくりと露天風呂と大浴場につかり皆さん今日の疲れはとれたかな・・・・・・
飲み放題の酒を飲み、バイキングの品数も多くシニアにわ十分だね。



10月24日（水）天気晴朗なれど風強く寒い
ゆっくりと目覚め朝温泉入り。食事後定刻、2日目の予定通り白虎隊士が眠る飯盛山へ。
戊辰戦争で戦い自刃した16、7歳の白虎隊士の事は多く知られていますが、正規軍18～35歳が朱雀隊、36～49歳が青龍隊、50歳以上が玄武隊。三隊のことはあまり知られておりませんが、兵員数は300余名共に戦い敗れそれぞれの地で果てました。



会津若松のシンボル鶴ヶ城。蒲生氏郷が七層の天守閣を築き、その後加藤時代に現在のような五層の天守閣になった。戊辰戦争では約一か月の激しい攻防に耐え、難攻不落の名城ともしられています。
明治政府の命で取り壊されたが、昭和40年に再建され平成23年には幕末時の赤瓦屋根に葺き替えられた。



会津磐梯山の麓町、猪苗代も全国有数の蕎麦産地でツアーに参加していただいた方に今日もおいしい新蕎麦をいわはし館の五段そば、五種類の薬味でたべます。おいしかったです。
会津観光では自然美と郷土料理、新蕎麦と心ゆくまで五感で堪能。いくばくかは協力できたかな～と、お土産も皆さんと一緒に購入したし。早めに帰路、予定より一時間位早く新都心着お疲れさまでした。



「花散策クラブ」活動報告

2013. 3. 22 大塚隆一

昨年からA~F迄の担当グループが企画・実施をすることを決めてスタートしました結果、各グループとも下見から当日までの間、“花の咲き具合”と“天候”に一喜一憂しながら、苦勞して探した店での昼食を終えて、無事に帰路についた時は、達成感とともに快い満足感を味わいます。

以下に昨年から今迄の活動を報告しますが、既に会員の方に配布した内容と重複する箇所が多いことを、ご承知願います。

1. 第33回 古河総合公園の「花桃」 (担当：役員)

開催日：4月4日(水) 参加者：12名

状況： 予定の日が荒天になったので1日延期したことと、花は3~4分咲きでやや物足りなかったものの“桃祭り”期間に設けられた野外ステージのショーを観ながら数多く並べられた「出店」で思い思いの昼食と新鮮な空気を腹いっぱい満喫することが出来ました。

2. 第34回 塩船観音神社の「つつじ」 (担当：Aグループ)

開催日：5月11日(金) 参加者：15名

状況： 観音像が見下ろす斜面に早咲き、遅咲きの“つつじ”がコントラスト良く咲いた景観を楽しみました。
たまたま広場で幼稚園の園児が昼食中で、その鮮やかな制服の色が花に溶込んで綺麗で印象に残りました。
その後30分くらい待った昼食の“そば”は空腹もあり大変美味しく感じました。



牧野さん作成

3. 第35回 堀切菖蒲園の「菖蒲」 (担当：Bグループ)

開催日：6月15日(金) 参加者：16名

状況： 3日前の下見時に見落としていた駅から菖蒲園までの、遊歩道に手入れされた“紫陽花”を観ることが、出来て得な気分になりました。花の見ごろがベストということもあり、混雑していましたが、数多く命名された花の名札を見て種類の多いことを知りました。

近くの荒川まで足を延ばし対岸に「スカイツリー」を望んだ後、柴又で昼食後に解散して希望者が江戸川の“矢切の渡し”の遊覧に向かいました。

他の人は柴又駅前の「寅さん」の銅像と記念撮影をして帰路につきました。



牧野さん作成

4. 第36回 野木町の「ひまわり」 (担当：Cグループ)

開催日：7月22日(日) 参加者：14名

状況：5日前に梅雨明けしたので、猛暑を覚悟していましたが、当日の2日前から低温が続いたので幸いに長袖で快適に散策を楽しむことが出来ました。

20万本の“向日葵畑”の一角に作られた人の背だけを超えた！大迷路！を、年に負けずに汗をかきながらスタンプラリーに挑戦し、抽選で“花火”を当てた仲間もいました。日曜日で混雑した中から「出店」を見つけて、思い思いの昼食をとった後、一人2本の！切り花！を土産に大切に持ち帰りました。

改めて“ひまわり”一本一本の大きさと、重さを実感した一日でした。



牧野さん作成

5. 第37回 鴻巣の「サルビア」 (担当：Dグループ)

開催日：10月12日(金) 参加者：16名

状況：北鴻巣駅から、可愛い巡回バスに乗り約10分程で現地に到着しました。そして刈入れの間近い小金色の稲穂を見ながら畑道を歩いて、その1角に植えられた“朱紅色”のサルビアを觀賞しました。

昼食は「花久の里」という地元では有名という店で“うどん”を大広間で各自がそれぞれのお好みのメニューを注文して、楽しいひと時を過ごしました。

この店は立派な門構えがあり、前庭に植えられたサルビアは先ほど観たのより色栄えが良いとの皆の評判でした。



牧野さん作成

6. 第38回 新宿御苑の「紅葉」 (担当：Fグループ)

開催日：11月28日(水) 参加者：13名

状況：寒さが厳しかったので、皆が思い思いのファッションブルな防寒服を身に纏って、新宿門からスタートしました。真紅の“もみじ”と“かえで”の「紅葉」や“イチヨウ”鮮やかな「黄葉」と大木の枝の広がりには驚嘆しきりでした。

その後、神宮外苑のイチヨウ並木まで足を延ばそうということになり、千駄ヶ谷門を出て進み、イチヨウ葉が積もった“絨毯”のような柔らかさを靴底に感じながら、若がえった気分です並木通りを散策しました。

大通りから奥まった和食店「北の家族」に、全員が入ることが出来たランチタイムは、時の経つのを忘れるほど歓談が限りなく続きました。その後、偶然に近くで開催中の「ねむの木の子どもたちとまり子美術展」に入館して、現在85歳と思えないほ

ど、穏やかで品のある“宮城まり子さん”本人と記念撮影できる幸運に恵まれて良い思い出になりました。



牧野さん作成



イチヨウ並木

7. 新年会（総会）

開催日 1月16日（水） 参加者 21名

場所 新都心ラフレ“秋が瀬庵”

内容 (1) 活動報告 上記の通り
 (2) 会計報告 繰越金 18770円
 (3) 年会費 1000円（前年と同じ）
 (4) 役員（留任）

部長 大塚隆一 副部長 蔵重美佐子

総務 鈴木きく枝 沢田啓子

会計 上野純子 酒井嘉子

(5) 輪番と担当月（目安）

A(2～3) B(4) C(5) D(6～7) E(9～10) F(11～12)



8. 第39回 三浦の「河津桜」 （担当：Fグループ）

開催日：3月8日（金） 参加者 11名

状況：ハイキングクラブと合同企画で実施しましたが、案内書の作成及び下見までを、ハイキングクラブに行ってもらったことに感謝致します。

当日は、暑いぐらいの良い天気にも恵まれ、花も満開で小松ヶ池には鳥が遊泳している風景を観ながら散策しました。



小笠原さん作成

予想以上に人出が多かったので
早めのランチをホテルで済ませて
その後の散策をスムーズに進める
事が出来ました。

花見を堪能した後、自由時間に温泉
組と海岸組に分かれて行動すること
になり、海岸組は海辺の石段に腰掛
けて大海原からの快い潮風に吹かれ
て休息しました。

数羽のトンビが餌（食べ物）を狙っ
て急降下するスピードの凄まじさには、身の危険を感じながら魅入りました。
駅に集合した温泉組は、晴れやかで艶やかな笑顔をして揃いました。



小松ヶ池ほとりに咲く満開の河津桜

9. 第40回 北越谷の「元荒川の桜堤」(担当：Bグループ)

開催日：3月29日(金)

* 4月の予定を、今年の桜は開花が異常に早かったので、3月に前倒しして開催日を決
めましたが一

10. 今後の予定

第41回はCグループが担当して、武蔵丘陵森林公園の「ルピナス」を予定しています。
以上

さいたま市シニアユニバーシティ北浦和校第8期校友会 花散策クラブ規約

{名称}

第1条 本クラブの名称は、さいたま市シニアユニバーシティ北浦和校第8期校友会・花
散策クラブ（以下「本クラブ」という）とし、本クラブの運営に関する必要な事
項を定める。

本クラブの事務所は部長の指定した場所とする。

{目的}

第2条 本クラブは、クラブの会員が“花花を愛で親しみながら散策し、健康の維持・増
進”を図ることを目的とする。

(2) 散策を通して、会員相互の親睦と情報交換を行い交流を図ることを目的とする。

{組織}

第3条 本クラブは、「さいたま市シニアユニバーシティ北浦和校第8期」（以下「同校」
という）の卒業生及び同校大学院卒業生で校友会会員であり、本クラブの目的・
趣旨に賛同して、会費を収めた者をもって組織する。

なお、その他で入会を希望する者がいる場合は、役員会で協議の上可否を決定す
る。

(2) 本クラブへの入会は、基本的には入会を希望される本人の意思表示によることと

し、また退会も本人の意思表示によるものとする。

- (3) 本クラブ活動に、クラブ員以外の方が参加を希望される場合は、1回・200円を納入して参加できるものとする。

{活動}

第4条 本クラブは第2条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (2) 本クラブは“四季を通して身近にある花を觀賞して、より豊かに知識を高める”ために、概ね月1回程度の頻度で実施する。
- (3) 散策をする場所は、別に定めるグループ毎の輪番制で立案・企画して取り進めることとする。
なお、グループ編成は必要がある場合は組み替えが出来ることとする。
- (4) クラブ員に緊急な連絡が必要なときは、別に定めるグループ毎の、連絡網により行う。
- (5) その他目的を達成に必要な活動。

{役員}

第5条 本クラブには次に掲げる役員を置く。

(2) 役員

- 部長 1名 部を代表するとともに、部を統括する。
- 副部長 1名 部長を補佐し、部長に事故あるときは部長の職務を代行する。
- 総務 1～2名 部の相談役としての職務を担当する。
- 会計 1～2名 部費の集金・支払いを担当し定期的に報告する。

{役員を選出}

第6条 役員は立候補を優先することとし、立候補者が無き場合はクラブ員の互選によって選出し、役員会及び総会により承認を得る。

{会議}

第7条 本クラブの会議は総会・役員会とする。

- (2) 総会及び役員会は必要に応じて部長が召集する。
- (3) 会議の議長は部長とする。
- (4) 会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決することとする。
可否同数のときは議長が決するものとする。

{自己責任}

第8条 活動中の行動は、全て会員の自己責任で行うものとし、活動中の事故により参加者に損害が生じた場合でも、本クラブに補償責任を問わないものとする。

{会計}

第9条 本クラブの経費は会費およびその他の収入をもって充てる。

- (2) 会費は年額1000円とする。
- (3) 納付された会費は活動するために必要な下記項目の経費に使用する。
- * 案内書作成・配布費用 : 1回につき1000円
 - * 下見交通費補助 : 1回につき2000円
 - * 資料作成・その他必要と認められる費用

{会計年度}

第10条 本クラブの会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日とする。

平成24年4月18日 制定・実施
以上

2012年度ハイキングクラブ活動報告

部長 藏重 修二

今年度は、6回の活動を予定しましたが、12月の渋沢丘陵・震生湖が私の北浦和協議会の行事のため中止した以外、何とか残りの5回は皆様の協力で実施することが出来ました。以下に5回の活動を報告します。この一年間ありがとうございました。

5月8日(火) 高尾山 (蕎麦道楽クラブと合同) (23人参加)

昨年中止になった蕎麦道楽クラブとの合同ハイキングで23人参加しました。穏やかな天気恵まれ、リフトで山上駅まで行きそこから比較的楽に歩ける高尾山の裾をまわる3号路で頂上まで行き、下りはつり橋を渡る4号路を歩きケーブルカーで下山。高尾山口駅近の琵琶家で10割そばを食べ帰路。



7月31日(火) 美し森ハイキング (山梨・清里) (マイクロバス使用) 19名参加

1年1回のバスハイイクで、暑い下界を忘れての涼しい標高1500mの高原ハイキング。気持ちいい汗をかきました。



八ヶ岳牧場から見た富士山遠望

9月25日(火) 真鶴の森から潮騒の磯ハイキング(神奈川県)

11名参加

相模湾に突き出した森と磯をつないで潮騒と梢をわたる風を感じたハイキング

真鶴岬最南端に下りる階段にて



干潮時には渡れる真鶴岬の三ツ石

12月4日(火) 渋沢丘陵と震生湖(神奈川県・秦野)

藏重の北浦和協議会の業務のため中止。

1月29日(火) 品川・大森歴史散策(旧東海道品川宿)

14名参加

昨年雨で中止になったコースのリベンジ。旧東海道の最初の宿場町の品川から大森駅までのぶらり歴史めぐりのハイキング。当初、最後に品川水族館の予定でしたが火曜日休館日のためコースを変えて、品川歴史館と大森貝塚にたち寄りました。



鯨洲公園にて(小笠原さん撮影)



品川神社に残る富士山
信仰の名残の富士登山道

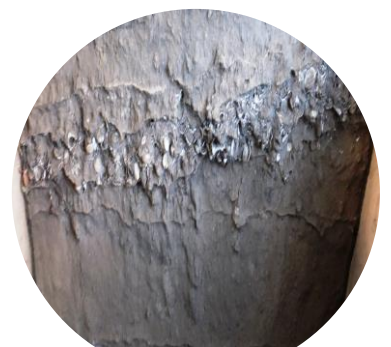


品川富士塚頂上より
遙かスカイツリーを望む



江戸時代の鈴ヶ森刑場跡

品川歴史館の水琴窟
今でもきれいな音が楽しめた



大森貝塚跡に残る貝殻層

3月8日(金) 三浦海岸河津

(花散策クラブと合同ハイク)

18人参加

12年前に伊豆の河津から移植した河津桜が大きく育ち見事な桜並木が見られるようになったところで、本物の河津の800本より多い1000本の河津桜が有る。

小笠原さん提供



以上

皆さんの広報誌『ふれあい』への投稿を歓迎します。

生活の知恵、旅行体験、美味しいお店、俳句・川柳・詩クラブ活動報告と案内、班毎の話題、趣味の紹介・・・など

編集後記

今年も編集者が多忙で、ふれあい発行が3回の予定が年度末最後の1回だけになってしまいました。申しわけありません。しかも、記事の収集も遅れ気味で班の活動は2つの班のみになってしまいました。

仕事を抱え込む性格で、もう少し関係している方々に動いていただくようにしなければならぬと反省しています。来年度は、このことがないようにしたいものです。

尚、編集の都合で一部レイアウトを変更させていただきました。ご了承ください。

(SK記)

広報担当	9班	宮畑作三	森田 操	10班	安澤泰三	関口悦子
	11班	岸 照子	山田義彦	12班	小林文雄	山崎克子
	藏重					